



EU 研究ディプロマプログラム(EU-DPs)  
2018年度 シラバス  
- 学部生対象(M1:経済) -

最終更新日: 2018 年 10 月 19 日

※EU-DPs 科目の開講状況やシラバスの内容は変更になる場合があります。

## シラバス参照

2018/10/19追加



講義科目名	経済史Ⅱ
科目ナンバリングコード	
講義題目	グローバリズムと欧米経済
授業科目区分	
開講年度	2018
開講学期	後期
曜日時限	後期 金曜日 3時限
必修選択	
単位数	2.0
担当教員	藤井 美男
開講学部・学府	経済学部
対象学部等	経済学部
対象学年	学部2年
開講地区	伊都地区
使用言語	
使用言語 (自由記述欄)	日本語(Japanese)
教室	
その他 (自由記述欄)	

授業概要	<p>授業の概要: 経済史Ⅱは、資本主義システムによる経済社会の空間的な膨張と構造的変化を探究することを基本テーマとする。欧米側の視点から、資本主義世界システムの展開と構造を明らかにし、その歴史的意義を考察していく。</p> <p>The main theme of this lecture is to elucidate the historical mechanism of the expansion of capitalism and the structural change of the economic society. By following the lecture, students will be able to understand the historical process of capitalism and its nature as a world system.</p>						
キーワード	資本主義、世界システム、パクス・ブリタニカ、パクス・アメリカーナ						
履修条件等	きちんと出席し、授業に取り組む姿勢を必要とする。						
履修に必要な知識・能力	世界史の基礎知識を持つことが望ましい。						
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>No</th> <th>観点</th> <th>詳細</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1.</td> <td>A: 知識・理解</td> <td>経済史の基本的な流れを理解することができる。</td> </tr> </tbody> </table>	No	観点	詳細	1.	A: 知識・理解	経済史の基本的な流れを理解することができる。
No	観点	詳細					
1.	A: 知識・理解	経済史の基本的な流れを理解することができる。					

PAGE TOP

到達目標	2.	B: 専門的技能	
	3.	C: 汎用的技能	経済史の史実を的確に把握し、自らの見解を述べることができる。
	4.	D: 態度・志向性	経済の史的現象について考察し、現代的問題関心へ接続できる。

No	進度・内容・行動目標	講義	演習・その他	授業時間外学習
1.	第1回 授業の概要説明「1.1 経済史の対象と課題」	○		
2.	第2回 1.2 経済史の方法(理論と実証: 様々な歴史観)	○		
3.	第3回～第7回 2.1 西欧経済とその膨張: 中世から近世へ 2.2 長期の16世紀: 世界システム論へ	○		
4.	第3回～第7回 2.1 西欧経済とその膨張: 中世から近世へ 2.2 長期の16世紀: 世界システム論へ	○		
5.	第3回～第7回 2.1 西欧経済とその膨張: 中世から近世へ 2.2 長期の16世紀: 世界システム論へ	○		
6.	第3回～第7回 2.1 西欧経済とその膨張: 中世から近世へ 2.2 長期の16世紀: 世界システム論へ	○		
7.	第3回～第7回 2.1 西欧経済とその膨張: 中世から近世へ 2.2 長期の16世紀: 世界システム論へ	○		
8.	第8回 中間試験(予定)	○		
9.	第9回～第15回 2.3 市民革命と産業革命 3. 19-20世紀の英米資本主義 3.1 パクス・ブリタニカ 3.2 パクス・アメリカーナ	○		
10.	第9回～第15回 2.3 市民革命と産業革命 3. 19-20世紀の英米資本主義 3.1 パクス・ブリタニカ 3.2 パクス・アメリカーナ	○		
11.	第9回～第15回 2.3 市民革命と産業革命 3. 19-20世紀の英米資本主義 3.1 パクス・ブリタニカ 3.2 パクス・アメリカーナ	○		
12.	第9回～第15回 2.3 市民革命と産業革命 3. 19-20世紀の英米資本主義 3.1 パクス・ブリタニカ 3.2 パクス・アメリカーナ	○		
13.	第9回～第15回 2.3 市民革命と産業革命 3. 19-20世紀の英米資本主義 3.1 パクス・ブリタニカ 3.2 パクス・アメリカーナ	○		
14.	第9回～第15回 2.3 市民革命と産業革命 3. 19-20世紀の英米資本主義 3.1 パクス・ブリタニカ 3.2 パクス・アメリカーナ	○		
15.	第9回～第15回 2.3 市民革命と産業革命 3. 19-20世紀の英米資本主義 3.1 パクス・ブリタニカ 3.2 パクス・アメリカーナ	○		

授業以外での学習にあたって  
本講義では、特定のテキストは定めず、パワーポイントによるノート講義とするため、一定の予習と復習を必要とする。

テキスト  
授業資料欄参照。

参考書

授業資料  
事前にパワーポイント資料を配信する。ダウンロード先のURLは以下の通り。  
[http://www.econ.kyushu-u.ac.jp/~fujii/Office\\_F\(main\).htm](http://www.econ.kyushu-u.ac.jp/~fujii/Office_F(main).htm)

評価方法・観点	観点No.1	観点No.2	観点No.3	観点No.4	観点No.5	観点No.6	観点No.7	観点No.8	備考 (欠格条件・割合)

成績評価		◎		◎	◎				
		○		○	○				
		◎		◎	◎				
成績評価基準に関わる補足事項	中間試験と定期試験の結果を総合して、成績評価を行う。								
ループリック	<a href="#">後期2018(H30)年度経済史2ループリック.pdf</a>								
学習相談	オフィスアワーは随時としている。メールにて予約のこと。メールアドレスは以下の通り。 <a href="mailto:fujii@econ.kyushu-u.ac.jp">fujii@econ.kyushu-u.ac.jp</a>								
添付ファイル									
その他	<p>本科目はEU研究ディプロマプログラム(EU-DPs)に開放されています。<a href="http://www.euii-kyushu.com/jp/home/index.html">http://www.euii-kyushu.com/jp/home/index.html</a>本科目では、歴史・思想・文化など、EUに関連する内容の講義を行います。</p> <p>【EU-DPs 科目分類】(B) 歴史・思想・文化など、EUに関連するものを扱う。</p>								
更新日付	2018-09-20 17:52:54.053								



## シラバス参照

2018/10/19追加



講義科目名	外国書講読(仏語経済)①
科目ナンバリングコード	
講義題目	フランス語で読む近代経済史
授業科目区分	
開講年度	2018
開講学期	後期
曜日時限	後期 火曜日 3時限
必修選択	
単位数	2.0
担当教員	藤井 美男
開講学部・学府	経済学部
対象学部等	経済学部
対象学年	学部2, 3, 4年
開講地区	伊都地区
使用言語	
使用言語 (自由記述欄)	日本語(Japanese)
教室	
その他 (自由記述欄)	

授業概要	<p>Le Grand Commerce maritime au XVIIIe siecle 中の 論文を講読することを通じて、大航海時代の国際貿易について知識を深めていく。</p> <p>By reading the texte (one of the articles contained in Le Grand Commerce maritime au XVIIIe siecle), you will be able to understand the situation of the trades executed globally during the 18th century.</p>						
キーワード	フランス語・西洋経済史・商業革命・大航海時代・近代世界システム						
履修条件等	フランス語読解の基礎力があること。受講に積極的な姿勢を持つこと。						
履修に必要な知識・能力	フランス語の基本的文法を理解し、社会科学的な思考力によってフランス語の文章を解釈することができること。						
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>No</th> <th>観点</th> <th>詳細</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1.</td> <td>A: 知識・理解</td> <td>以下の諸点について、ヨーロッパの大航海時代を史実と共に説明できる。・大西洋システム・商業革命・東インド貿易</td> </tr> </tbody> </table>	No	観点	詳細	1.	A: 知識・理解	以下の諸点について、ヨーロッパの大航海時代を史実と共に説明できる。・大西洋システム・商業革命・東インド貿易
No	観点	詳細					
1.	A: 知識・理解	以下の諸点について、ヨーロッパの大航海時代を史実と共に説明できる。・大西洋システム・商業革命・東インド貿易					

PAGE TOP

到達目標	2. B:専門的技能	ヨーロッパ近世史に関する基本的知識や用語を、フランス語で理解することができる。								
	3. C:汎用的技能									
	4. D:態度・志向性	ヨーロッパ近世の経済あるいは貿易について、深い洞察を行い、現代的問題関心を深めることができる。また、授業への積極的な関与によって、フランス語での理解や表現を練磨することが可能となる。								
授業計画	No	進度・内容・行動目標	講義	演習・その他	授業時間外学習					
	1.	第1回 授業とテキストに関する説明。		演習	予習を要する。					
	2.	第2回 受講生による輪読開始。		演習	予習を要する。					
	3.	第3回 以降同様。		演習	予習を要する。					
授業以外での学習にあたって	少人数での授業のため受講生は毎回輪読担当となる。フランス語での輪読に備え、予習ならびに復習を欠かすことはできない。									
テキスト	Le Grand Commerce maritime au XVIIIe siècle.									
参考書	適宜授業中に示す。									
授業資料										
成績評価	評価方法・観点	観点No.1	観点No.2	観点No.3	観点No.4	観点No.5	観点No.6	観点No.7	観点No.8	備考 (欠格条件・割合)
		◎	◎		◎					
		○	○		○					
		○	○		○					
		○	○		○					
		◎	◎		◎					
成績評価基準に関わる補足事項	出席、発表を重視する。									
ルーブリック	<a href="#">後期2018(H30)年度後期仏経ルーブリック.pdf</a>									
学習相談	オフィスアワー・学習相談は随時。メールにて予約をすること。 <a href="mailto:fujii@econ.kyushu-u.ac.jp">fujii@econ.kyushu-u.ac.jp</a>									
添付ファイル										
その他	途中小テストを行うことがある。									
更新日付	2018-09-20 17:50:10.188									

## シラバス参照



講義科目名	外国書講読(仏語経済)①
科目ナンバリングコード	
講義題目	ルーブル博物館のマネジメント
授業科目区分	
開講年度	2018
開講学期	前期
曜日時限	前期 月曜日 3時限
必修選択	
単位数	2.0
担当教員	小津 稚加子
開講学部・学府	経済学部
対象学部等	経済学部
対象学年	学部2, 3, 4年
開講地区	箱崎地区
使用言語	
使用言語 (自由記述欄)	日本語で講義します。教材はフランス語です。
教室	510B
その他 (自由記述欄)	卒業旅行でルーブル博物館に行ってみたいひと、博物館・美術館や文化・芸術に関心があるひと、せっかく学んだフランス語を忘れたくないひと、税金で作った公共の施設が将来どのように管理されるのがよいか、考えてみたいひと、は一度教室を覗いてみてください。

授業概要	この講義では、コレクションや収蔵品の鑑賞からは見えてこない、博物館・美術館のマネジメントを学習します。題材は、フランスのルーブル博物館です。ルーブル博物館は、世界一の入館者を誇り、その収蔵品はヨーロッパのみならず人類の宝物の数々です。そうした収蔵品の保存と活用のために、投入される莫大な資金を想像しながら、ルーブル博物館のマネジメントを知り、議論する、というのがこの講義の中身です。						
キーワード	ルーブル博物館、世界一の入館者、芸術の保存と活用、アニュアルレポート						
履修条件等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・博物館・美術館に関心があること</li> <li>・フランス語の履修は条件としない。</li> <li>・ただし、これからフランス語を始める受講生は、文法を自習書を手元において予習すること。</li> </ul>						
履修に必要な知識・能力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第2回の講義で、博物館・美術館の経営に関する解説論文(日本語)を読みます。そのときに、分からないことを質問してください。</li> </ul>						
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>No</th> <th>観点</th> <th>詳細</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	No	観点	詳細			
No	観点	詳細					

到達目標	1.	A:知識・理解			
	2.	B:専門的技能			
	3.	C:汎用的技能			
	4.	D:態度・志向性			
授業計画	No	進度・内容・行動目標	講義	演習・その他	授業時間外学習
	1.	オリエンテーションと教材の説明	○		
	2.	博物館・美術館のマネジメントの概要			
	3.	第3回目からは、受講生の持ち回りによる教材の輪読とディスカッション			
授業以外での学習にあたって	・ときおり、博物館・美術館についてのニュース、話題、特別展・企画展をフォローしておくとうい。				
テキスト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ル・ボワンに掲載されたルーブル博物館の記事を教材にします。フランス語です。</li> <li>・このほか、博物館・美術館のマネジメントについて書かれた解説論文を読みます。日本語です。</li> </ul>				
参考書	・上記のとおり。				
授業資料	・コピーにて配布します。				
成績評価					
成績評価基準に関わる補足事項	・平素の受講状況(出席、教材の翻訳と理解度、発言)を総合的に評価します。				
ルーブリック					
学習相談	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講義に関する質問は、講義時間中にしてください。</li> <li>・語学留学の相談は、必要に応じ別途時間をとります。アポを取ってください。</li> </ul>				
添付ファイル					
その他	・この講義が終了したときに、コレクションの鑑賞からは見えてこない、博物館の実態が、経済学・経営学の視点から整理し、理解できるのが目標です。				
更新日付	2018-03-16 15:42:16.573				





## シラバス参照



講義科目名	外国書講読(独語経済)①
科目ナンバリングコード	
講義題目	ドイツ企業の強みと弱み
授業科目区分	
開講年度	2018
開講学期	前期
曜日時限	前期 月曜日 3時限
必修選択	
単位数	2.0
担当教員	潮崎 智美
開講学部・学府	経済学部
対象学部等	経済学部
対象学年	学部2, 3, 4年
開講地区	箱崎地区
使用言語	
使用言語 (自由記述欄)	主に日本語。テキストは独語。
教室	P11
その他 (自由記述欄)	

授業概要	<p>経済・経営の専門用語や基礎知識を独語で身に付けるとともに、その知識を独語で表現するための基盤を作ることを目的として、独語で書かれた新聞・雑誌記事や文献を読む。</p> <p>本授業では、グローバル化、金融危機、移民、第4次産業革命、Brexitなど、近年生じている様々な諸問題を取り込みつつ、ドイツ企業の強みと弱みを考察・議論する。</p> <p>The objective of this course is to understand and discuss present German economy and business with some readings written in German. The course topic for this semester is "German automotive companies in global economy". Course materials, i.e. annual reports, articles or literatures, are provided in the class.</p>						
キーワード	中小企業(KMU)、製造業、ドイツ株式指数(DAX)						
履修条件等	独語を履修していることが望ましい。						
履修に必要な知識・能力	独語の読解能力。						
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>No</th> <th>観点</th> <th>詳細</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	No	観点	詳細			
No	観点	詳細					

到達目標	1.	A:知識・理解	経済独語の用語を理解している。							
	2.	B:専門的技能	経済独語の文章を読むことができる。							
	3.	C:汎用的技能	経済独語の文章が理解できる。							
	4.	D:態度・志向性	自発的に継続的に、経済独語の学習に取り組んでいる。							
授業計画	No	進度・内容・行動目標	講義	演習・その他	授業時間外学習					
	1.	オリエンテーション								
授業以外での学習にあたって	予習・復習を行うこと。									
テキスト	授業中に配布する。									
参考書	授業中に指示する。									
授業資料	授業中に配布する。									
成績評価	評価方法・観点	観点No.1	観点No.2	観点No.3	観点No.4	観点No.5	観点No.6	観点No.7	観点No.8	備考 (欠格条件・割合)
		○								
		○	○	○	○					
		○	○	○	○					
					○					
成績評価基準に関わる補足事項	平素の成績による。									
ルーブリック										
学習相談	メールでアポイントを取った上で、来室のこと。 <a href="mailto:shiosaki@econ.kyushu-u.ac.jp">shiosaki@econ.kyushu-u.ac.jp</a>									
添付ファイル										
その他	<p>本科目はEU研究ディプロマプログラム(EU-DPs)に開放されています。 <a href="http://eu.kyushu-u.ac.jp/educationjp.html">http://eu.kyushu-u.ac.jp/educationjp.html</a></p> <p>本科目では、EUそのものについては取り上げませんが、EUを理解するために、EUが置かれている現代世界的な課題について講義を行います。</p>									
更新日付	2018-03-31 00:37:24.499									

